

日立労働基準監督署長が安全パトロールを実施！ ～ 第95回全国安全週間を契機に～

令和4年7月1日



現場代理人（左）から説明を受ける狩野署長（右）



安全訓話を行う狩野署長（中央）

日立労働基準監督署（署長 狩野直美）は、第95回全国安全週間期間中の7月1日に、日立市の「萬春園建設事業」現場（施工：秋山・白土・黒川特定建設工事共同企業体）で、安全パトロールを行いました。

現場では、足場が組み立てられており、墜落防止対策として手すり、中さん、幅木などが設置されていました。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、休憩の回数を増やし、冷房付き休憩室等で水分補給を行い、熱中症対策を取っていました。

狩野署長から作業員らに対して行った安全訓話の中では、管内で発生した労働災害を事例に挙げながら、特に取るべき安全対策について言及しました。現場作業員から、気温差の大きい中での体調管理の注意点等について質問がありました。

令和4年度の全国安全週間は

「安全は 急がず焦らず怠らず」

のスローガンの下に実施されます。事業者・労働者双方が一丸となって労働災害防止のための基本ルールを徹底し、それらを遵守・実行するための時間的・人力的余裕のある業務体制を構築するよう、よろしくお願いいたします。

日立労働基準監督署 第三方面

TEL：0294-88-3980